

# 常設展示学習Cシート

2025.12 改訂

## たっぴい Q&A 解答編

学校

年

組

名前

この学習シートは、長野県立歴史館の展示物や資料をじっくりと見ながら、質問に答えたり、体験チェックを行ったりして、各時代の特徴をつかむことができます。キャラクターの案内にしたがって、楽しく見学を始めましょう。

～各キャラクターが、みなさんの学習&見学を案内します～



《ナビじい》



《きくゾウ》



《するグマ》



《あっぱれ殿》



《比べる地蔵》

## 1. 木曽のヒ/キが語る信濃の歴史



歴史を刻むのは人だけではないんじゃ。植物もさまざまな歴史を自分自身の中に刻んでいるんじゃ。



常設展示室に入るとすぐ左側に、輪切りの木が展示されています。この木には年輪という筋があることが分かります。

さて、この年輪の様子から分かることを書きましょう。

- ・年輪の数で樹齢（樹木の年齢）や生育を始めた年、切られた年が分かる。
- ・年輪の幅等でその年の気候などが分かる。

ヒント：理科の学習で・・・。

## 2. 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活



旧石器～弥生時代の人びとは、どんな生活をしていたんじゃないだろうか。衣・食・住について探ってみなされ。



長野県北部の野尻湖付近に生息していたナウマンゾウはどのような理由により、絶滅したと考えられていますか。2つ書きましょう。



①

氷河期の最寒冷化により、気候の変化についていけなくなっ

絶滅した。

②

人間がナウマンゾウをとり尽くしてしまったために絶滅した。



動物の牙や角、骨を使い作られた物を「骨角器」といいます。どのようなものを作っていたか、展示品から具体的な道具をいくつか書きましょう。

つりばり、ぬいばり、ヘアピン、動物を突きさす道具、骨のさじ、装身具

など



### 〔比べる地蔵パート1〕

土器・土器（ドキドキ）対決じゃ！2つの土器をそれぞれ比べなされ。

#### 縄文土器



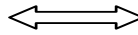
ゴツゴツ デコボコ

厚くて、比較的重い。

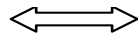
茶色 黒っぽい茶色 こげ茶色

なわめ 縄目のついた模様や飾り かざ

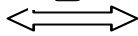
形



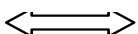
厚さ  
重さ



色



もよう  
模様



#### 弥生土器



丸い つぼのような形 など

うすくて、比較的軽い。

赤っぽい はだ色 茶色

あまりない



### 〔比べる地蔵パート2〕

次は、石の道具対決じゃ！2つを比べなされ。

次の写真について、どちらが石の矢じり（<sup>せきそく</sup>石鏃）で、どちらが石包丁（<sup>いしほうちょう</sup>石包丁）ですか。それぞれに○をしましょう。また、その違い（<sup>ちが</sup>ちが）について書きましょう。



（石包丁・矢じり）



（石包丁・矢じり）

①それぞれの道具が作られた時代はいつですか。

石の矢じり（石鏃）は（縄文～弥生 時代） 石包丁は（弥生 時代）

②どんなことに使う道具ですか。

石の矢じり（弓矢の先に付けて、動物などを捕まえる道具として使う。）

石包丁 （稲の穂先を刈り取る道具として使う。）



## 体験タイム

縄文時代は食べ物や必要な生活用具を採集していたんだよ。何があるかな？



縄文の竪穴住居内や、その外には食べ物や生活に必要な道具がいっぱい。

体験したものに○をつけましょう。

また、住居の外にも鳥や動物、トンボ、食べ物を見ることができます。目をこらして探してみましょう。

①頭をぶつけず入口から入れた。( ○ )

②トンボを見つけた。( ○ )

③カモシカや熊の毛皮に靴を脱いでのり、<sup>くつめ</sup>感触を味わえた。( ○ )

④当時の人々が、どんな食べ物を食べていたか見た。( ○ )

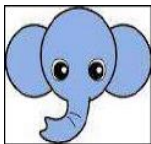
⑤この他に、この家の中にあつたものをいくつか書いてみましょう。

(毛皮 石のおの <sup>えもの</sup>ウサギなどの獲物 魚のくんせい <sup>あ</sup>つるで編んだかご など )

⑥縄文の村にある木の実を2つ書きましょう。(どんぐり、トチの実、くるみ、あけびの実など)

⑦縄文の村にいた動物を2匹見つけられた。(タヌキ、イタチ、トンボなど)

⑧縄文の村にいた鳥を2羽見つけられた。(キジ、フクロウ)



弥生時代に大陸から伝わったとされるものについて展示資料を見ながら2つ書いてみましょう。

①

稲作 (米づくり)

②

鉄製品や銅鐸、銅戈などの金属器

これらを伝えたとされる、現在の国の名前を書きましょう。

( 大韓民国 (韓国) ) と ( 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮) )



当時の人びとは知恵を出し工夫しながら生活していたことが分かったじゃろう。地域で協力し合い、必要な道具は自分たちでつくり、当時の人たちなりに、よりよく生きようとしていたんじゃない。

アッパレ！

# 3. 信濃の国のないたちと人びとのくらし



飛鳥時代～平安時代には、国の組織も整えられ、人びとの生活も大きく変化してきたんじゃ。



貴族の時代と言われる平安時代ですが、右の陶器には、どのような特徴が見られますか。  
( 緑色の上薬をかけて焼かれている。 )



右の写真に写っている物は何でしょう。

また、この写真に写っている物の近くにある物をよく見ると、共通するものがあります。それは漢字2文字です。



次のヒントをもとに漢字2文字を考えてみましょう。

ヒント1 写真に写っている物は〇〇を書くために使う。

ヒント2 〇〇の書かれた木の板や〇〇の書かれた土器が展示してある。

写真に写っている物は、( 役人の使った硯。 ※硯だけでも〇 )です。  
共通する〇〇は、( 文字 )です。(2文字)

# 4. 信濃武士と百姓のくらし



鎌倉時代～戦国時代は武士の時代といわれておるぞ。  
善光寺門前の様子から仏教や武士、人びとの生活をさぐってみんしゃい。



## 体験タイム

今から約700年以上前の善光寺の門前だよ。



鎌倉時代の善光寺門前右側の三軒<sup>けん</sup>をのぞいてみよう。どのようなものを作ったり、売ったりしていたか調べてみましょう。



○作られていたものは？

- ・仏像が作られていた

○売られていたものの名前は？（４つあげてみよう）

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| ① わらじ   | ② 木の実や干し柿 <sup>がき</sup> |
| ③ 鮭（サケ） | ④ 布や米 など                |



善光寺門前左側には、寺庵<sup>じあん</sup>があります。これは、善光寺のお坊さん<sup>ほうさん</sup>たちが修行をする場所でした。

この寺庵の建物の特徴を探して書きましょう。

（ヒント→目の前の三軒の店と大きく  
違っている点に着目してみましょう。）

- ① 板ぶきの屋根や板の間がある。
- ② 石の塔<sup>とう</sup>（五輪塔）がある。
- ③ 縁<sup>えん</sup>の下がある。建物の周りが垣根<sup>かきね</sup>（柴垣<sup>しばがき</sup>）で囲まれている など。



鎌倉時代の馬は、今の競走馬<sup>きやうそうば</sup>のように大きくないことがよく分かったじゃろう。今の競走馬は山の急斜面には登れんが、鎌倉時代の馬は急斜面も登っていける馬だったんじゃ。源氏も平氏も、こうした馬で戦ったんじゃ。

当時、信濃国は馬の生産地として大変有名で、「牧<sup>まき</sup>の馬」（佐久地方）といえはその名を全国にとどろかせていたんじゃ。今は、こうした小型の馬は木曽の開田高原で木曽馬として見ることができるぞ。信濃国産の馬はアツパレじゃな！

# 5. 江戸時代の村と町の暮らし



江戸時代では農民の生活をしっかりみんなしやい。家の中をのぞき、道具や場所をよく見るのじゃ。



江戸時代に信濃国の道も整備されました。どんな役割を果たした道でしたか。

①

塩や米などの荷物を運ぶ。

②

文化や情報を運ぶ。

③

参勤交代や旅など人の移動。



江戸時代、徳川家康は全国支配のため江戸と各地を結ぶ陸上交通路を整備したんじゃ。日本橋を起点とする五つの街道<sup>かいどう</sup>を五街道というぞ。アッパシ！五街道とは、東海道・日光街道・奥州街道<sup>おうしゅう</sup>・中山道<sup>なかせんどう</sup>・甲州街道<sup>こうしゅう</sup>じゃ。信濃国を通っていた街道も、この中にあるから、調べるのじゃ！



## 体験タイム

な、な、なんと

体験 4 連発！！

その1：自然の繊維<sup>せんい</sup>といってもいろいろな種類があります。

飾<sup>かざり</sup>ってある繊維の手ざわりを確かめましょう。

体験したら○→（ ○ ）

〔一番触り心地がよかったのは、（略）〕



その2：これは何かな？正しいかつぎ方でかついでみよう。

（これをかついで山道を歩けるかな？）

体験したら○→（ ○ ）

〔肥桶<sup>こふり</sup>の重さの予想〕 2つで34kgあるだろう。



〔肥桶の中身は何かな？〕 今でいうと 肥料 のかわりです。

その3：江戸時代の民家にある、わらたたきをじょうべ石  
（わら打ち石）のところで持ってみましょう。

体験したら○→（ ○ ）

○どんなことに使用した道具なのかな？

石の上でわらたたきを使ってわらを柔らかくして加工

しやすくした道具。



その4：農家の居間に靴を脱いであがり、ねこの感  
触を味わってみましょう。毛糸で編んだじ  
ゅうたんや、たたみとはどのように違いま  
したか。



体験したら○→（ ○ ）

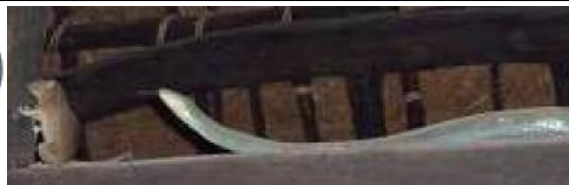
じゅうたんや、たたみとの違いについての  
感想を書こう。



（ 略 ）



右の写真の場所では、馬が飼われていたんじゃ。  
当時の農民にとって、馬は荷物を運んだり、農作  
業をしたりするためにはなくてはならない大事な存  
在だったんじゃ。アッパレじゃ！



農家の土間の柱の上  
にはネズミとヘビがいま  
す。どちらが農家にとっ  
てありがたい存在です

か。その理由を書きましょう。

どちらがありがたい存在ですか。○をしましょう→

ネズミ ・ **ヘビ**

その理由は？→

ヘビは、百姓にとって大切な米を食べてしまうネズミを食べてくれるから。



## 6. 世界につながる県民の暮らし



明治時代～昭和時代では、生活が便利になると共に戦争という悲しいできごともおきたんじゃ。人びとの生活の変化を今と比べてみんしゃい。



明治時代のはじめ、長野県は大きく2つの県に分かれていました。その県名を2つ書きましょう。

また、今のどの県の一部と一緒だったか書きましょう。

今の長野県は、① 長野 県と② 筑摩 県に分かれていた。

②の 筑摩 県は、今の 岐阜 県の一部と一緒だった。



### 体験タイム

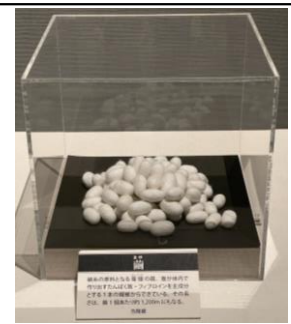
明治時代～大正時代は産業も発達しました。戦争もたくさんあった時代です。



右の写真は、かいが作った繭です。

1個の繭からとれる糸の長さを予想しましょう。

1個の繭から約 1000 ～ 1200 mの糸がとれる。



明治～大正時代の養蚕が盛んな時代、長野県の生糸生産量は、全国一だったんじゃ。そのため、県内だけでなく、まわりの県からも女の人が工女として岡谷などに多く働きに来たんじゃ。たくさん糸を繰って、たくさんお金をかせぎ、家族の生活を支える親孝行な娘がたくさんいたんじゃな。えらいもんじゃ。アッパレ！



右の写真は、製糸<sup>せいし</sup>工場で働いていた工女<sup>こうじょ</sup>さんが食べていた食事です。食事のメニューや勤務時間のグラフを見て感想を書きましょう。



( 略 )



右の写真は、大正時代～昭和の教室を再現しています。

今の教室と違っていている部分をさがして書いてみましょう。

○今の教室との違い→



・黒板の色や材質（黒い木製の板）が違う。

・机の引き出しが上方向に開く。ソロバンの玉の数が現在より1個多い。 など。



左の写真は、昭和30年代につくられた洗濯<sup>せんたくき</sup>機です。このコーナーには、洗濯機以外にも昭和時代に使われていた電気製品や機械がいくつか置かれています。どれか1つを選び、みなさんの家で使っている電気製品や機械と比べ、違いを書きましょう。

あなたが選んだ電気製品→（ 例 洗濯機の場合 ）

今の製品との違い→

・洗うところとしぼるところに分かれている。（全自動じゃない）

・レバーがついていて、しぼる時は手動になる。

・ボタンじゃなくて、ダイヤルみたいなスイッチになっている。 など。

# 7. 歴史探訪の道



これからの時代は、みんながつくる時代じゃ。ど

な時代をつくっていくのか楽しみじゃな。

わしは、見ることができんじゃろうが、一人ひと



あなたは将来どんな時代をつくりたいと考えていますか。こんな時代をつくりたいな・・・という願いや目標を書きましょう。

( 略 )

## 見学のまとめ

最後に見学のまとめをしましょう。また、見学で学んだことを今後の学習に生かしましょう。

1：一番心に残った体験は→

2：一番勉強になったことは→

3：一番気に入った時代は→

4：一番こわかった展示物は→

5：一番楽しかった場所は→

6：これからの歴史学習に役立ちそうな場所・物は→

今日の見学の感想を書いてみましょう。

